



ひかりのそ



社会福祉法人雲柱社
光の園保育学校
2024 年度 10 月号

寄り添うということ

9月は保護者引渡訓練にご参加いただきありがとうございました。当日は天候の都合により横川公園からピロティに場所を変更しての訓練でしたが、各クラスで緊急時の手順を確認することができました。能登半島では9月21日の記録的豪雨により大きな被害が続いています。私はその1週間前に研修で金沢市を訪れ、訪問先の認定こども園や児童養護施設の当時の様子、能登半島や市内の被害状況とその後などをお伺いしていました。歴史ある（丁寧に残している）町並みや元日の大地震で崩れたお城の石垣を見たり、避難所指定ではない施設でも地域の方を受け入れたことを聞きました。「当然ながら保育園だけでなく辺り一帯が被災し皆が被災者で、避難所や半壊の自宅から通う人もいる中では『いる人』と『有る物』で最善を尽くすしかない」という言葉に、あらためて災害に備えた計画と日頃から多様な想定で訓練をすること、万が一の時に協力し合える関係を地域の方と築く重要性を感じました。こどもたちの日常でも、困っている子がいると近寄り「じゃあ、どうする？」と助け合う姿が見られます。このような経験を積み重ねながら、寄り添い行動する関係性が育っているのだと思います。

10月はちゅうりっぷ組の親子遠足、11月の記念館大バザーやファミリーデーに向けた取り組みなどがあります。保育園、保護者、地域の方など多くの方との交わりは、安心して暮らせる関係作りの一助となるでしょう。また、涼しくなり戸外遊びもますます活発に展開されます。こどもたちが全身で自然に親しみながらその怖さとお恵みの両面を知り、すべての命の尊さを感じることで心豊かに成長するよう願っています。

園長 佐々木奈津絵

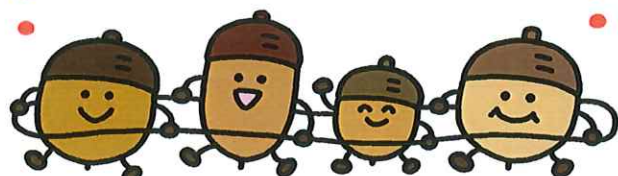
「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。」ローマの信徒への手紙 12章 15節

今年は各地で自然災害が多く発生し、今なお苦しい状況にある方々がいらっしゃいますが、一日も早く復興し支えられるようお祈りいたします。



<10月の予定>

- 3日(木) 誕生会
- 4日(金) 避難訓練
- 10日(木) 歯科検診
- 11日(金) 3歳親子芋ほり遠足



日暮れが早くなりました。お迎え時、園前での滞在は出来るだけ短くし、すみやかに降園しましょう。



9月19日の防災訓練、一斉引き取り訓練のご参加ありがとうございました。子どもの命を守る為の訓練ですので、来年度以降もご協力よろしくお願いします。

つぼみ組
(0歳児)

「初めての寒天あそび」

感触あそびといえば水遊び、氷、寒天などがありますが、つぼみぐみでも寒天あそびをしました。初めて触る冷たくて柔らかい感触に、びっくりして思わず手を引っ込めてしまう子どもたち。しかし、時間が経つと少しずつ「触ってみようかな？」という様子が見られ、指でツンツンしながら恐る恐るトライしていました。平気で寒天を握り潰す強者もいれば、手で触りたくないのに顔だけニコニコしている子どももいるなど反応は様々ですが、友だちの様子をじーと見つめ、勇気を出して寒天に触れる姿が見られました。これからも、小麦粉粘土や片栗粉粘土など様々な感触あそびを取り入れていきたいと思います。



もも組
(1歳児)

ヤングな ヤングマン♡【Y.M.C.A.】



もも組では、今『YOUNG MAN』が流行中です。元々は、ひとりのお友だちが家で歌ったことを思い出し、「わ～いえむし～えっ♪」と踊りだしたことがきっかけでした。保育園にも音源があったのでクラスでかけると、あっという間にみんなにも広がりました。「Y.M.C.A.」の振り付けも上手なので、水あそび前の準備体操代わりに踊りました。また、食事前に急に「Y.」「わいっ」「M.」「え～っむ」と曲のコール&レスポンス部分を始めたり、歌に合わせて両手を繋いで社交ダンス(!?)を始めたりする子どもたちの姿もみられています。昭和の曲が令和生まれの子どもたちに刺さるとは予想もしていませんでしたが、通りすがりの職員もパッとすぐに一緒に踊れる名曲をしばらく楽しみたいと思っています♪



さくら組
(1歳児)

♡お友だち大好き♡

さくら組になり半年が過ぎ、ひとりあそびの時期を経てお友だちと一緒にあそぶ姿が多く見られるようになってきました。そのような中ある日の出来事・・・絵本コーナーの椅子に上っていたAさん。それを見て保育者が声を掛けようとしたところ、近くに居たBさんが「ダメよ」と言いながらAさんの手を握りました。するとそれを見たCさんもすぐに来て「ダメよね」と顔を見合わせ反対の手を握りそのまま3人で椅子に座るとそこへDさんが絵本を持って登場！そして4人で絵本を見ながら笑い始めました。子どもたち同士の輪ができていくことに気付かされた瞬間でした。ついおとなが先に声をかけてしまいがちですが、このような姿を大切にしていきたいです。



たんぽぽ組
(2歳児)

ゆり組のオバケ屋敷に招待されたことをキッカケに

子どもたちはオバケに対して興味津々♪それ以降、お昼寝の後に「おばけがいる！」と、テラスに向かって叫ぶ子どもたち。「おばけみにいこうよ！」と実際にオバケの正体を見に探検へ行くと、そこには屋上のひさしが西日で向かいの家に影として映り揺れていました！また、保育室の外から音が聞こえると“こわい”と思いながらも「なんのおと！？」「おばけじゃない？」と想像を膨らませドキドキを楽しむ姿があります！初めはオバケ＝怖い物とイメージして後ずさりする姿もありましたが、今では幼児クラスの誕生会にあそびに行ったときや、ゆり組のお祭りに招待された時には「おばけやしきあるかな？」なんてオバケを楽しみにする声が聞こえてきます♪
次はどんなおばけに出会えるかな…？



「おやすみ(の)とき、おまつり行ったんだよ」と家族で休日楽しんできたことを教えてくれたAちゃん。すると「おまつりでかき氷食べたの!」「ちょうちんあったよ」など、次々他の子ども競うように教えてくれました。保育者もそれ保育園でやっても楽しそう!と笑顔になり、子どもたちと何か一緒にできないかな?と考え、部屋で子どもたちとにじみ絵でかき氷を作ったり、お面にできるものを用意したりしました。あれこれアイデアを出し合っているうちに、たんぼぼ・すみれのみんなでも楽しめそう!と「おまつりごっこ」をすることになりました。

当日プレイルームでは、大好きなかき氷を工作で手作りできるコーナー、お店屋さんごっこを楽しめるかき氷屋さんコーナー、ちょうちんや動物などのぬり絵コーナーなどをが、主に製作することを楽しみました。そしてプレイルームを出ると、段ボールの車に乗ってたんぼぼの部屋へ移動もできます! たんぼぼ組では、ボーリングコーナー、的当てコーナー、スイカ割りコーナー、輪投げコーナーなどがあり、身体を動かしてゲームが楽しめます。またテラスでは、金魚すくいも用意。夢中になって水の中のキラキラ光る魚をポイですくっていました。お面やかき氷などお土産が沢山になり、家族におまつりごっこの話をすることも待ちきれないという笑顔でした。

その日以降も部屋でボーリングなど楽しんだり、ゆり組さんのおまつりにも招待してもらって一緒に楽しんだり、お祭り三昧の夏でした。

おまつりを通して色々な体験をしたり、友だちと共通の話題で盛り上がり、年上の子どもとのふれあいから良い関係になっていたり、素敵な思い出になりました。



おひさま文庫より

「いちばん楽しかったのは…」



以前月に一度小中学生と野外活動を行うボランティアに参加していた時のことです。

その月は、当時横浜に出来たばかりの遠くの動物園に行きました。新しい観覧スタイルの園で日本に来たばかりのめずらしい動物を見て、もりあがりしました。帰りの電車の中でその動物園に行くことを誰よりも楽しみにしていた子に感想を聞くと、しばらく考えて返ってきた答えはなんと

「やっぱり大好きな皆と一緒に弁当を食べたことが一番楽しかった!」

一時間半以上かけて電車とバスを乗り継ぎ、オカピ(当時は日本初)やオオアライグマの親子を見に行っただのにそこ?と少し力が抜けたと同時に彼女が大切なことに気がさせてくれたような気がしました。

絵本もどんなにすばらしいとされるものも誰と読むかなんだなーと思うこのごろ。

お出かけ日和が増える10月
おひさま文庫では遠足やお出かけが
楽しみになる絵本をならべて
おまちしています。

ぜひ大好きな人と共に絵本を広げてみて下さいね。



ちゅうりっぷ組
(3歳児)

9月中旬、クラス的环境設定を変え、グループも新しい2グループにしてみました。
環境やグループが変わったことでの子どもたちの姿をご紹介します！

「夢みたい！」

お食事を食べている時、Aさんが
言っていた一言です。部屋の
設定・食事の席が変わったこと
で、子どもたちからはワクワク
しているかのような表情が
朝から見られていました。
まさにそんな皆の気持ちを
代弁しているかのような一言
でした♪



キャンディーグループとケーキグループ

ピーマングループとトマトグループから変わり、新しいグループに
なりました。保育者があえて「“あっち”グループと“こっち”
グループにする？」と聞くと案の定「いやだー！」と子ども達は反対！
「じゃあどうする？」と聞いてみました。「こっちがトマト、こっちが
ピーマンにしたら？」「りんごとナスがいい」と意見が出る中で、「お菓
子がいい」というAさんのアイデアに皆ピンときたようで「いいよ！」
となりました。そして、各グループお菓子でグループの名前を考え、
キャンディーグループとケーキグループに決まりました。自分の考えを
言葉で伝え、そして友だちの言葉に耳を傾ける姿、ステキですよ！



ばら組
(4歳児)

「当番活動始めました」

ばら組に進級してから食事の後には子どもたちがほうきで床を掃いて、雑巾掛けをするというのが日課になっていました。しかし時間が経つにつれて「今日ほうきやってくれる人」と聞いても「しーん…」誰もやりたい人がいないという日が続きました。それでも「先生一人で掃除するのは大変だなあ」とつぶやいていると数名の子どもたちは手伝ってくれたそんなある日。「今日も誰もやりたい人はいないかな」と保育者が言っていると、Aさんが保育者の元へ来て「ゆり組さんはどうやってやってるんだろうね」とポツリ。早速ゆり組さんへ聞きに行くと、当番活動というものがあることを知りました。そして話を聞いたAさんの表情は良い話を聞いたと満面の笑み。集まりの時間にみんなに話をしたいということで、Aさんから伝えてもらいました。ばら組の子どもたち全員が賛成ということで現在はほうき当番・ぞうきん当番をグループごとに日替わりでおこなっています。ゆり組さんと同じようにやっていることが嬉しいようで、毎日声を掛け合いながら楽しんでおこなっています。今後どうなっていくのか…しばらく見守っていきたいと思います。

<署名とカンパのご協力ありがとうございました>

『子どものよりよい育ちと子育て支援の充実。保育園や認定こども園の保育をよりよくするための要望』

署名 106 筆

カンパ 28,319 円 集まりました。

全国私立保育連盟を通して、内閣総理大臣あてに送ります。





『光の園のプール忘れない♡』

昨年ひと夏の成長を感じましたが、今年は更なる成長を感じる夏となりました。お泊まり前にはペットボトルで作った船を浮かべて壊れないか沈まないか試すこともしました。流れるプールや波のプールはみんなで協力することでできるプールあそびとして楽しみ、ばら組さんと入ったときには「こやるんだよ」「大きく回って～」と教える姿は、頼もしさを感じます。9月中旬のプール納めでは、2グループに分かれて入るのではなく子どもたちのリクエストに応え、全員で入りました！やりたいことぜ～んぶやり、スライダーはなんと！子どもだけでなく保育者もやりました。担任はもちろんですが、三つ目先生（林）と村上先生も来てくれ、一緒になって盛り上げてくれました☆子どもたちもスライダーをしながら「〇〇先生、忘れない♡」「光の園のプール忘れない♡」と叫びながら滑っていました。子どもたちの記憶に残る思い出になってくれたら嬉しいです。

『ソーラン節って？』

ファミリーデーに向けて踊りの練習をしているのですが、ただ踊るだけでは…と思い踊りに込められた意味を子どもたちに伝えました。昔の漁師や舟の画像、ニシン漁や網上げ漁の動画を一緒に観たあとに実際に子どもたちも体験をしました。漁師役がバスタオルを持ち、同じグループの他の子どもたちは魚役としてバスタオルを引っ張る。「あ～重い！どっこいしょ～どっこいしょ！」と掛け声をしながら引っ張るグループもありましたよ。動画を見ている時にも「重そうな顔してる～」「力が必要」と言っていました。実際にやってみると腰を落とさないと引っ張れないことにも気付いたようです。漁師さんの想いを知り、踊りにも熱が入ったゆり組の子どもたち！ファミリーデーでは、力が入った表情や腰の入り方に注目してくださいね♡



バザーのお知らせ



今年も恒例の記念館バザーが開催されます。ぜひ、皆さんご参加ください。

日にち：11月2日（土）

会場：本所賀川記念館（光の園保育学校）

時間：12:00～16:00

☆金券前売り申し込み期間は10月23日（水）～10月29日（火）です。

ファミリーデーについてのお知らせ

10月26日（土）に開催できなかった場合、27日（日）を予備日としていましたが、27日に選挙が行われる可能性があり、横川小の体育館を使用するため、借りることができなくなりました。延期の場合は保育園にてゆり組のみ行うことを検討中です。

— — —
— 今月のやまびこの
— 投書はありません
— でした。
— — —

ほけん

もしも「ひきつけ」を起こしたら・・・

子どもは急激に体温が上昇したときに、ひきつけ（熱性けいれん）を起こすことがあります。体をこわばらせて一時的に呼吸が止まる、白目をむく、意識を失うという激しい症状が突然起きます。症状に気が付いた方はとても驚かれると思いますが、ひきつけは通常数分以内で止まること、命にかかわることや後遺症を残すことははまさないことをあらかじめ知っておくと、いざという時に落ち着いて対処が出来ると思います。

もし症状が出たら、お子さんを揺さぶったり抱き上げたりせずに、どんな症状が何分間続くかを見てください。動画を撮れば受診時に役立ちます。万一、発作が数分で治まらない、発作を繰り返す、意識が戻らない時は救急車を呼びますが、数分以内で発作が治まった場合は通常の小児科を受診されると良いでしょう。



おしょくじ



おいしい！秋の味覚



よく噛んで食べてみよう☆

よく噛むと体にいいこといっぱい！

- 食べ過ぎを防ぎます
- 唾液がたくさん出て食べ物のおいしい味がよくわかります
- 胃の働きが良くなり、消化を助けます
- 良いうんちが出ます
- 唾液が出ることで歯を丈夫にします
- 勢いよく食べたり、すぐに飲み込んでしまう子もいるので、お家でも「よく噛もうね！」の声かけをしてみてください♪
- 新米がおいしい季節になりました。よく噛むと優しい甘味を感じます。おいしい秋の味覚をたくさん味わって楽しみましょう！

🍎揚げアップルパイ🍎

○材料（幼児1人分）

りんご・・・1/8切

砂糖・・・小さじ1/2

餃子の皮・・・2枚

小麦粉・・・小さじ1/2

水・・・小さじ1/2

揚げ油・・・大さじ1

○作り方

- ①りんごの8等分に切り、芯を取り除き、スライスします。
- ②鍋に①と砂糖を入れ、火にかけて煮りんごにします。
- ③小麦粉に水を加えて混ぜておきます。
- ④餃子の皮に煮りんごをのせ、ふちに③を塗り、しっかり閉じます。
- ⑤160℃の油で両面がきつね色になるまで揚げたら完成♪

甘いりんごが
おいしい～♪



お知らせ

◎11月より献立をルクミー配信する予定です。

イラストの献立が必要な方は1階事務所サンプルケースの横に置かせていただきますのでお持ちください。

◎1歳児には窒息予防の観点からりんご・梨・柿のスライスは提供しません。

0歳児につきましては月・水・金曜日にバナナ・柑橘類を提供しています。